

平成15年3月期 第3四半期連結業績概況

平成15年1月30日

上場会社名 株式会社マンダム (コード番号: 4917 東証第二部)
 (URL <http://www.mandom.co.jp>)

問い合わせ先 責任者役職名 執行役員財務管理部長
 氏 名 齊 藤 嘉 昭 TEL (06) 6767-5001

1. 四半期連結損益計算書等の作成等に係る事項

- 財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : 中間連結財務諸表作成基準
- ・ 会計処理方法の変更の有無 : 有 (国内連結子会社において役員退職慰労引当金計上)
 - ・ 中間決算等と異なる会計処理の有無 : 無
 - 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無
 - 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2. 平成15年3月期第3四半期の業績概況 (平成14年4月1日～平成14年12月31日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
15年3月期第3四半期	35,243	()	5,896	()	5,523	()
(参考) 14年3月期	42,086		5,211		4,534	

	四半期 (当期) 純利益		1株当たり 四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
15年3月期第3四半期	2,807	()	124	88		
(参考) 14年3月期	2,176		92	96		

(注)売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率

米国経済をはじめ世界的な景気調整局面が続き、わが国経済も消費需要の急激な低迷等、景気下降が一層鮮明になるなかで、化粧品業界においては依然として価格下落基調が継続する反面、数量ベースでは増勢傾向に転じるなど明るい兆しも見え始めております。

このような状況のなかで、当第3四半期終了時(平成14年4月1日～平成14年12月31日)における業績は上記のように極めて好調に推移いたしました。販売面においては、マンダム(単体)が、下期に入り返品が増加傾向はあるものの主力ブランドである「ギャツビー」、「ルシードエル」、「ルシード」がほぼ計画どおりの進捗をみせ、国内子会社で展開する女性用化粧品の伸び悩みを補う一方、海外事業においても二桁増収となり成長を持続しております。なかでもインドネシアの連結子会社 PT MANDOM INDONESIA においては、期首に発生した水害の影響もなくなり、下期以降輸出を中心に計画どおり推移しております。

また、製造会社であるマンダム(単体)及び PT MANDOM INDONESIA における原価低減基調に変わりはなく、販売費予算増額を吸収した上に土地評価損(248百万円)計上後においても強含みの利益水準を確保いたしました。

この業績は、計画を上回る進捗を見せております。

(2) 財政状態 (連結) 変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
15年3月期第3四半期	40,329	31,465	78.0	1,399 95
(参考) 14年3月期	38,613	29,376	76.1	1,306 61

当第3四半期終了時点においては、期首よりたな卸資産及び売上債権が多少増加(1,029百万円増)しておりますが、これは事業規模拡大に伴うものであります。また、有利子負債残高は期首とほぼ同水準の388百万円でありますが、何れも財務体質に影響を与えるものではありません。なお、有利子負債は当期末には全額返済予定であります。また、中間期末からの比較では手元流動性と営業債務が減少したことにより記載の総資産額となっております。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況(平成14年4月1日~平成14年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
15年3月期第3四半期	25,967	4,367	4,332	2,356

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
15年3月期第3四半期	36,901	31,842

3. 平成15年3月期の連結業績予想(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	46,000	5,900	3,000	133 45

平成15年3月期の業績見通しにつきましては、マンダム(単体)における新商品の発売が当第4四半期であり、発売時期に合わせて販売費(販売促進、宣伝)を集中投下することに加え、PT MANDOM INDONESIAにおける12月のレバラン(断食休暇)による影響を勘案して前回公表値並(平成14年10月7日)を予想しております。

なお、当期末までに事業内容及び関係会社の異動等は想定しておりません。

(参考2) 平成15年3月期の個別業績予想(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
通 期	33,700	4,500	2,500	20 00	20 00	40 00

期末配当金につきましては、増配を検討しております。

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済状況・市場環境・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。